

今日からレッスンしよう！

角だし

1 手先の長さを決める

帯板をつけた後、帯の手先の長さを少し長めに（肩にかけたとき帯の下線をすぐるくらい）とる。帯を胸に一巻きし、下側（輪のほう）を持ってしっかり締める。



2 帯をもう一卷する

帯をもう一卷し、前の柄が良い位置にきているか確認してから、苦しくない程度にしっかり締める。



3 たれと手先をクロスする

たれがまた後ろに来たところで、上にでている手先を下ろし、たれとクロスさせる。



4 クリップで手先を前帯に仮留めする

手先を前に持ってきてクリップで留める。



5 仮紐を通す

上に折りあがっているたれ（お太鼓になる部分）の付け根を折り、帯の上側に仮紐を通して前で結ぶ。



6 帯幅をを広げる

後ろにたれている帯をきれいに広げる。



7 手先をのせる

前でとめておいた手先のクリップをはずして後ろへまわし、6で広げた帯の上にのせる。



8 仮紐をかける

手先の上から仮紐をかけ、前にまわして結ぶ。



9 たれを持ち上げる

帯の下線から25cm前後くらい下の帯の内側に、三つ折りにした帯揚げをあて、たれを持ち上げる。



10 帯山をつくる



胸に巻いた帯の上線と同じぐらいの高さで帯山をつくる。

11 帯揚げを結ぶ



ほどけないようにしっかり帯揚げを結び、形を整える。

12 帯締めをたれの内側にあてる



仮紐を2本とも外し、帯締めをたれの内側（胸に巻いた帯の下線あたり）にあて、左手で帯と紐を一緒に持つ。

13 たれを折り上げる



右手で下にたれた帯を折り上げる。たれの長さは人差し指1本分より少しながめに。

14 帯締めを結ぶ



帯締めを前に回し、しっかりと締める。

15 形を整える



お太鼓の中に手を入れ、お太鼓の下側にふくらみを持たせる。両側の手先のバランスを整える。